

下水道モニター

令和８年度　第２回アンケート結果

下水道モニターアンケート第２回では、大雨・災害時の下水道」をテーマにした下水道クイズと、浸水対策・「東京アメッシュ」についてのアンケートを行いました。

◆ 実施期間　令和８年７月 29 日(水)～8 月 12 日(水)の 15 日間

◆ 対 象 者　東京都下水道局「令和８年度下水道モニター」

※東京都在住 18 歳以上の男女個人

◆ 回答者数　679 名

年代	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
20歳代以下	42	67	62.7%	6.2%
30歳代	103	164	62.8%	15.2%
40歳代	151	220	68.6%	22.2%
50歳代	176	260	67.7%	25.9%
60歳代	139	188	73.9%	20.5%
70歳以上	68	96	70.8%	10.0%
合計	679	995	68.2%	100.0%

※１８歳及び 19 歳と 20 歳代の回答は「20 歳代以下」として集計しました

◆ 調査方法　ウェブ形式による自記式アンケート

◆ 内容

１　下水道に関するクイズの回答結果……1

２　クイズに対する感想……7

３　家庭での浸水対策……9

４「東京アメッシュ」に関する設問……10

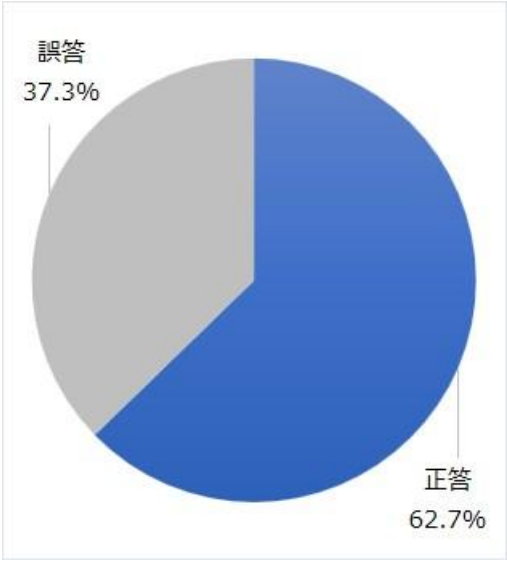
構成比は小数点以下第２位を四捨五入しているため、合計しても 100 とはならない場合があります。

1　下水道に関するクイズの回答結果

[問 1]　合流式下水道の説明として正しいものはどれでしょう？（単一回答）

[回答の選択肢]　①分流式と比べ整備の費用が安く、工期も短くできる
②分流式より後に主流となった
③汚水は水再生センターに集めて処理し、雨水は川や海へ放流する
④大雨でも雨水をすべて下水処理場に送ることができる

[正答率]

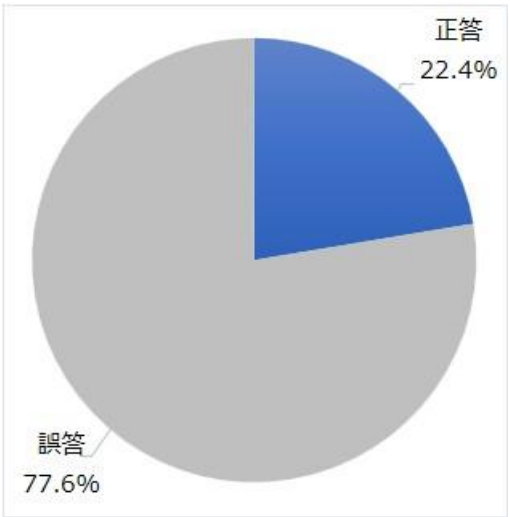


[問 2]　突然の豪雨で下水道管に大量の雨水が流れ込むと、道路のマンホールが写真のようになっている様子が見られることがあります。このとき、マンホール内部から噴き出しているものは、何でしょう。（単一回答）



[回答の選択肢]　①雨水　②汚水　③空気　④蒸気

[正答率]

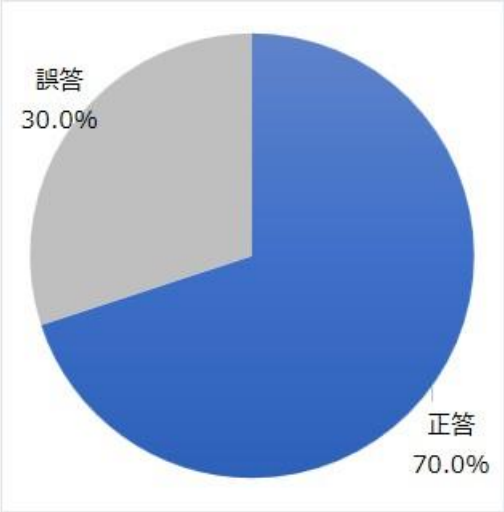


[問 3]　下水道局が浸水対策として行っているものはどれでしょう。（単一回答）

[回答の選択肢]

①浸水対策幹線の整備【新たな幹線を整備して、雨水排除能力を高める】
②ポンプ所の能力増強【急激な豪雨を即座に排水できるよう無注水形先行待機ポンプを導入する】
③雨水貯留施設の整備【下水道管の流下能力を超える雨水を貯留する施設を整備する】
④一部完成区間の暫定貯留【一部完成した下水道管に雨水を暫定的に貯留して、整備効果を発揮させる】
⑤降雨情報の提供【東京アメッシュを活用し降雨レーダーの情報を発信】
⑥大規模地下街対策【地下街への雨水浸入を防止するための施設を整備する】
⑦枝線の増径【古くなった下水道管を新しいものに入れ替える際に、下水道管を大きくして流下能力を高める】
⑧増補管(ぞうほかん)やバイパス管の整備【下水道管を追加（増補管）、水の流れを変える等（バイパス管）、浸水被害が起こりやすい箇所における下水道管の流下能力を高める】
⑨樋門(ひもん)・高潮防潮扉(たかしおぼうちょうひ)の管理　【下水道の放流先にある河川からの水の逆流を防ぐ】
⑩雨水浸透ますの設置促進【学校、公園、庁舎などの公共施設や戸建て住宅や集合住宅・事業所等の宅地において、降った雨を地下に浸透させ、下水道管への雨水の流入を抑制する施設の設置を促進する】
⑪浸水予想区域図の公表【河川周辺の浸水の被害予想区域についてホームページ等で周知する】
⑫半地下家屋・地下室の注意喚起【豪雨時に下水道管から室内への逆流を防止するため、排水ポンプの設置や止水板、土のう等の準備といったご家庭における浸水予防策をお願いする】
⑬上記全部

[正答率]



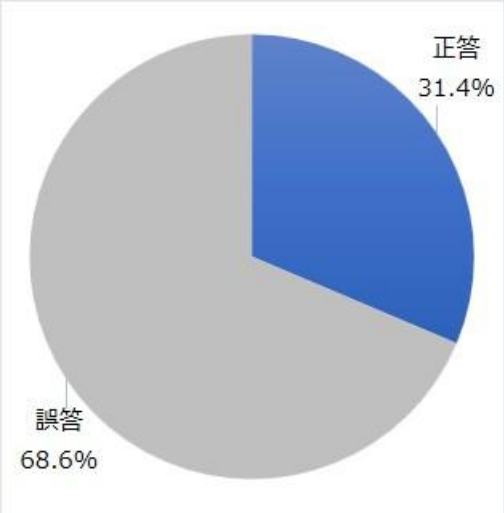
[問 4]　下水道局では、現在「時間 65～75mm（※）」の雨に対応できることを目標に、下水道施設を順次整備しています。次のうち、「時間 65～75mm」の雨の表現として最も適切なものはどれでしょう。（単一回答）

（※）東京２３区内の整備目標　時間 75mm
東京多摩地域の整備目標　時間 65mm

[回答の選択肢]

① どしゃ降りの雨で、道路一面に水たまりができる
② バケツをひっくり返したような雨で、道路が川のようになる
③ 滝のような雨で、傘が全く役にたたない
④ 息苦しくなるような圧迫感がある、恐怖を感じる

[正答率]



[問 5]　東京都下水道局が重点的に浸水対策を進める「重点地区」は、どのように選定されているでしょう？（単一回答）

[回答選択肢]

①都民の投票で決定
②過去の浸水実績や流出解析シミュレーションの結果を考慮
③地価の高い地域を優先
④鉄道駅が多い地域を優先

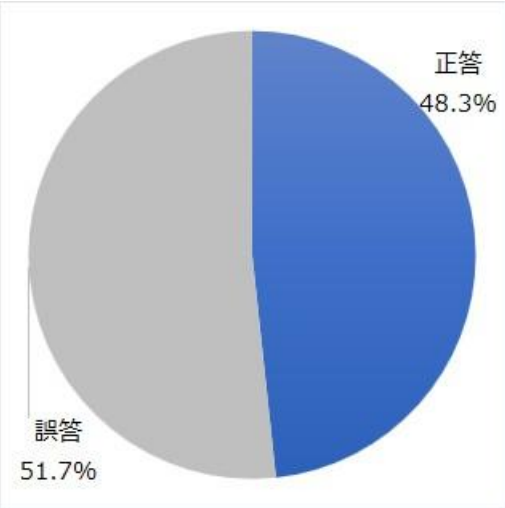
[正答率]



[問６]　直径 25 ㎝の雨水浸透ます１個が、１時間に地中に染み込ませることのできる水量はどのくらいでしょう。（単一回答）

[回当選択肢]　①大きなペットボトル１本分（２Ｌ）
②ポリタンク１つ分（２０Ｌ）
③お風呂１杯分（２００Ｌ）
④２５ｍプール１杯分（５０万Ｌ）

[正答率]



[問 7]　大きな地震が起こった時、下水道に起こりうることは次のうちどれでしょう。（複数回答）

[回答の選択肢]　①　下水が固体になって詰まる
②　下水道管が地中で損傷する
③　マンホールが浮上する
④　水再生センターの機能が止まる

[正答率]



[問 8]　避難所等で使われる「マンホールトイレ」は次のうちどれでしょう。(単一回答)

[回答の選択肢]

①



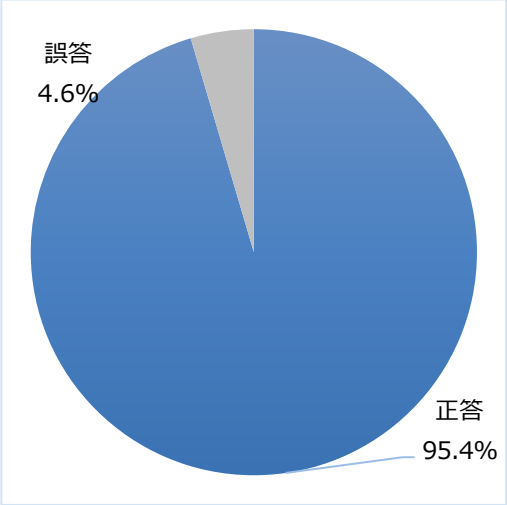
②



③



[正答率]

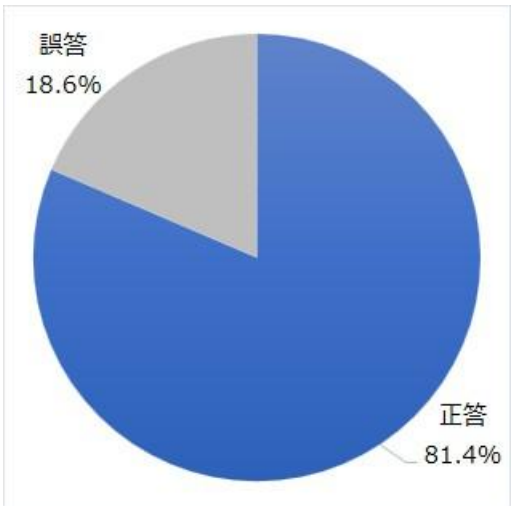


[問 9]　大きな地震の後、各ご家庭での下水道の使用はどうしたらよいと思いますか
(単一回答)

[回答の選択肢]

①絶対に使用しない
②何か問題が起こるまでは普段どおり使う
③使用制限の情報が出ていないか確認し、普段どおり使う
④使用制限の情報が出ていないか確認し、流しやトイレが流れることを確認してから、使う

[正答率]



[問 10]　富士山の噴火は、東京都の下水道にも大きな影響を及ぼすと考えられています。現在最も懸念されているのはどのようなことでしょうか（単一回答）

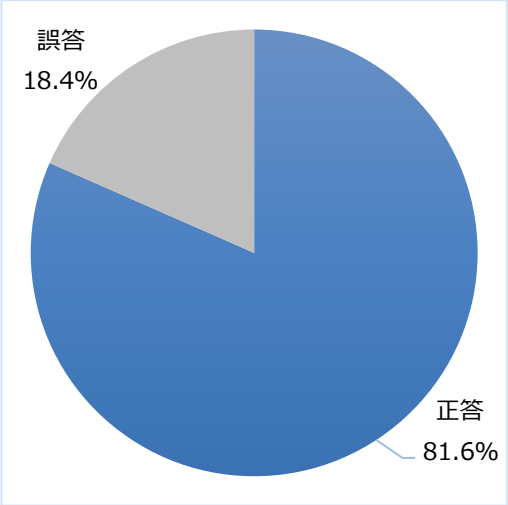
[回答の選択肢]　①噴火の揺れで、下水道管が破断する

②噴石の飛来で水再生センターが機能停止する

③降った火山灰が雨で下水道に流入し、下水道管が詰まる

④溶岩が流れ込み、下水道管が損壊する。

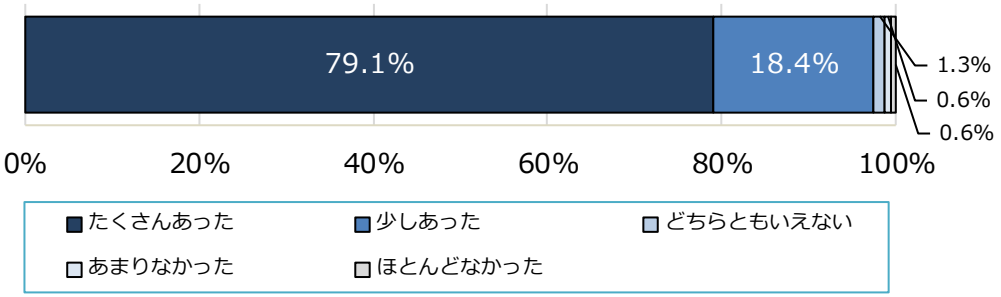
[正答率]



2　クイズに対する感想

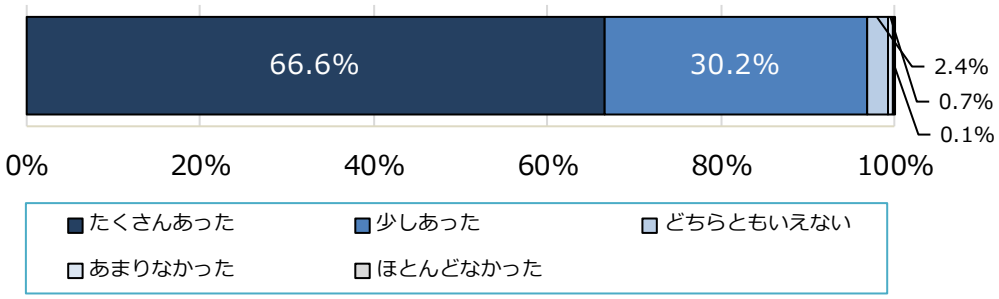
（1）　初めて知った事柄・内容

『たくさんあった』『少しあった』という回答が 97.5%だった。



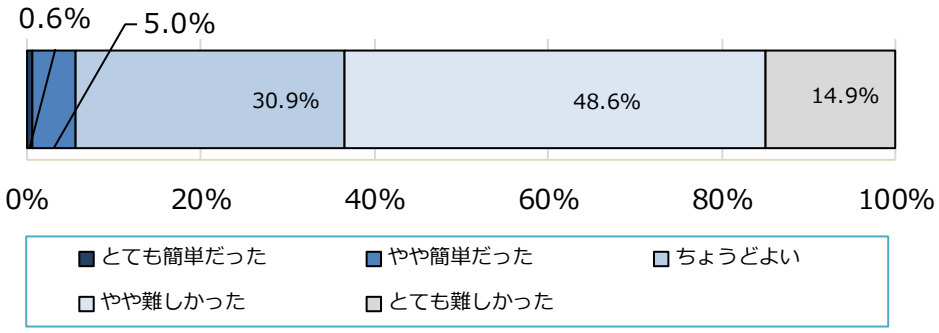
（2）　興味喚起（「面白い」「興味を持てる」と感じられるものがあったか）

『面白い』『興味をもてる』と感じられたという回答が約 97%だった。



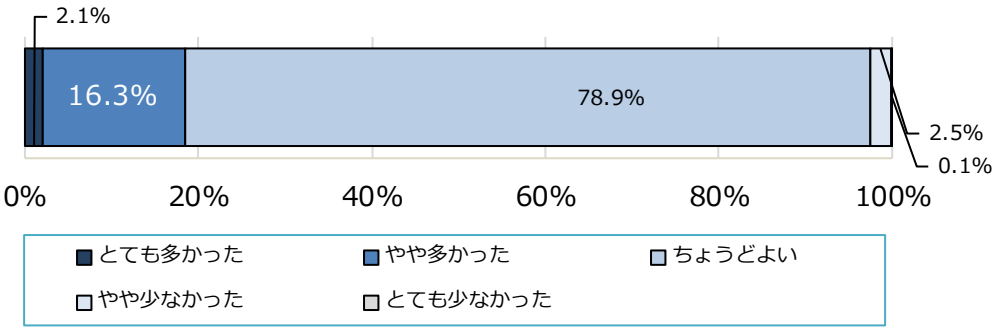
（3）　難易度

難易度は『ちょうどよい』が約 3 割、『やや難しかった』が約 5 割となった。



（４） 設問数

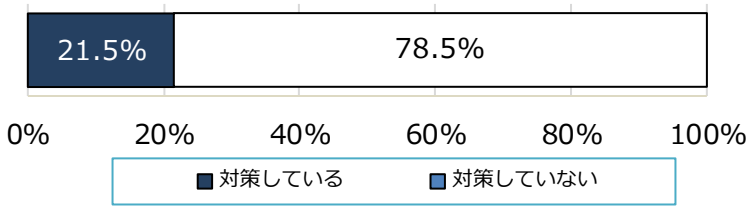
『ちょうどよい』という回答が約８割となった。



3 家庭での浸水対策

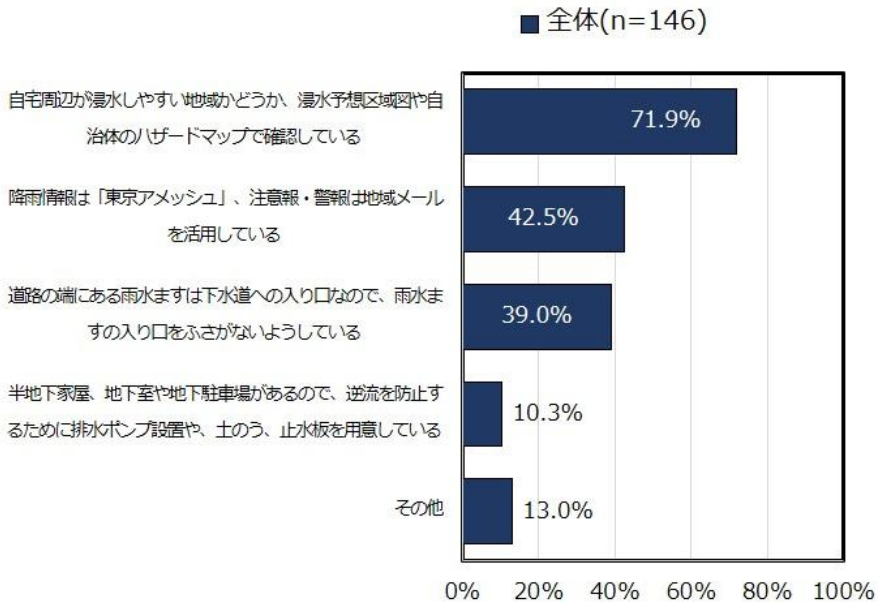
（1） 家庭での浸水対策実施の有無

家庭で浸水対策を実施しているのは、回答者の約 2 割だった。



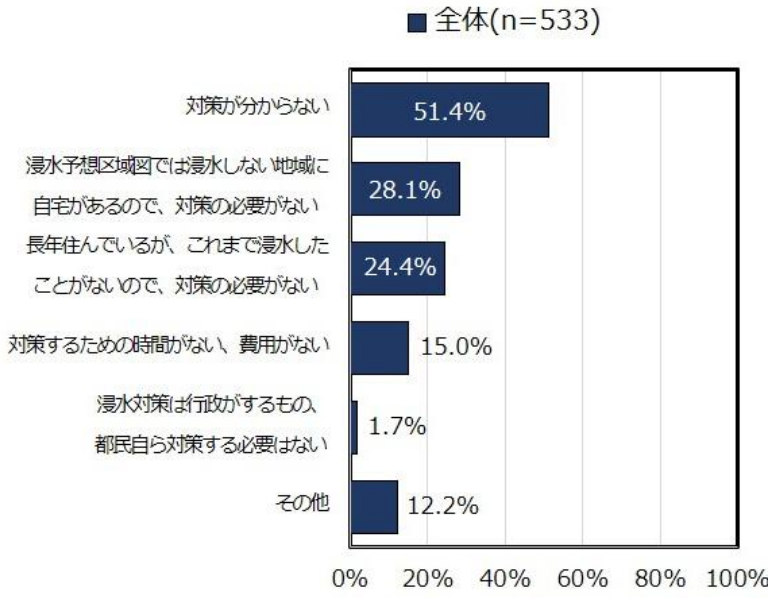
（2） 行っている浸水対策

（1）で「対策している」と回答した 146 人が行っている浸水対策は、「浸水予想区域図で確認している」が最も多く、次いで「東京アメッシュや地域メールを活用している」、「雨水ますの入り口をふさがないようしている」の順だった。



（3） 浸水対策を行わない理由

（1）で「対策していない」と回答した 533 人の理由は、「対策が分からない」、「浸水予想区域図では浸水しない地域に自宅がある」が多く、次いで「長年住んでいるが、これまで浸水したことがない」となった。



4「東京アメッシュ」に関する設問

（1）「東京アメッシュ」の利用

「東京アメッシュ」の利用経験者は約 2 割だった。



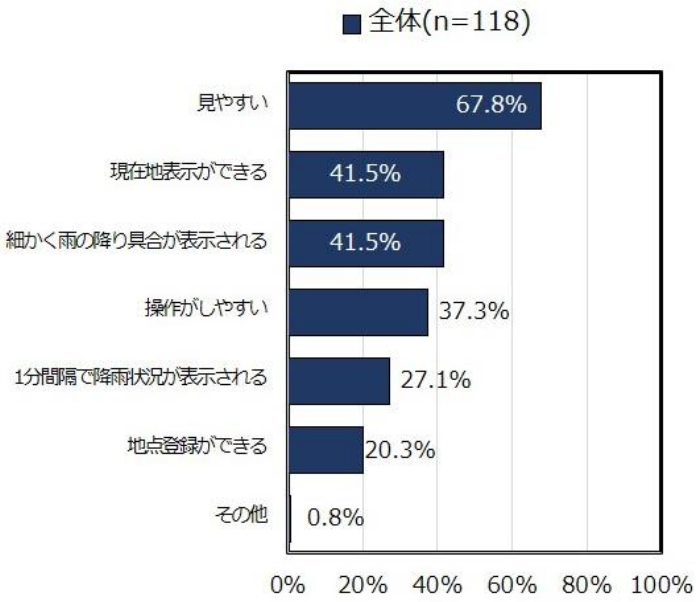
（2） 「東京アメッシュ」の利便性

（1）の利用経験の設問で「利用している（必要な時に利用している）」と回答した 144 人のうち、「使いやすい」と回答したのは約 82%だった。



（3） 「東京アメッシュ」の使いやすい点

（2）の設問で「使いやすい」と回答した 118 人の使いやすい点として、「見やすい」が約 68%、「現在地表示ができる」と「細かく雨の降り具合が表示される」がともに約 42%だった。



（４）「東京アメッシュ」を利用しない理由

（１） の利用経験の設問で「今は利用していない」「利用していない」535 人の利用しない理由は「活用方法がわからないが最も多く、次いで「他の気象情報を使用している」との回答が多かった。

